

緊急課題の解決に向けて

～県土整備部の取組み～



県土整備部長 佐藤 文夫

新年明けましておめでとうございます。

新春を迎え、県民の皆様にはますますご健勝のことと心からお喜び申し上げます。

さて、当部では①災害に強い県土づくり、②産業の振興を支援する交通ネットワークの構築、③戦略的な維持管理の推進、④県北沿岸振興、⑤快適な生活環境と都市基盤の整備、⑥建設業における構造改革の推進 を6つの重点施策として掲げるとともに、「H20 地震からの早期復旧」、「地域経済の活性化」及び「H23 平泉世界遺産登録に向けた支援」の3つを緊急課題として位置付け、これらの課題解決のため、今年も積極的に取り組むこととしています。

はじめに「H20 地震からの早期復旧」についてですが、当部では昨年11月末に国道342号祭時大橋の仮橋を開通させるなど、これまで県民の皆様や関係機関の御協力をいただきながら、総力を挙げて復旧に取り組んできました。今年も住民の皆様方が一日でも早く元の生活に返ることが出来るよう、一丸となって早期復旧に取り組んでいきます。

次に「地域経済の活性化」についてですが、世界同時不況の影響で県内経済も厳しい状況となっています。県土整備部ではこの深刻な地方経済の危機に対応し、県営建設工事の早期発注や工期短縮を図ることなどにより、地域における資金循環の促進や事業効果の早期発現を通じた地域経済の活性化に総力を挙げて取り組んでいきます。

最後に「H23 平泉世界遺産登録に向けた支援」についてですが、県外から平泉を訪れる観光客の増加を促すと同時に、県内各地の観光地へと誘導するため、東北横断自動車道釜石秋田線や三陸縦貫自動車道をはじめとする高規格幹線道路網等の整備や、今年4月9日に新ターミナル地域の供用を予定している「いわて花巻空港」の機能強化等に引き続き取り組むこととしています。

申し上げるまでもありませんが、社会資本は災害等から県民の生命・財産を守り、地域産業の振興を進め、快適で安全な生活を支えるうえで極めて重要です。

当部では今年も社会資本の整備や適切な維持管理に努めていきますので、皆様方のより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、新年のご挨拶といたします。